

じちかい

伊連自協 No.48

・発行日 令和4年3月31日
 ・発行 伊達市連合自治会協議会
 T052-0024 伊達市鹿島町20番地1
 伊達市役所 総務部総務課内
 TEL(0142)82-3162 内線318

創立30周年を迎えました

当協議会は平成3年4月に時代の変化に即応すべく現在の体制に組織改編を行い、今年度創立30周年の節目を迎えました。この間、「心のふれあう明るく住みよいまちづくり」をスローガンに掲げ、各種事業を展開してまいりました。伊達市及び関係団体各位、歴代会長、理事、委員、さらに、自治会長、自治会役員、自治会員、多くの皆様のご支援を賜り今日まで活動を推進できましたこと、心より敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

この度の節目を記念し、記念式典と記念講演会を予定し準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症変異種による急速な感染拡大状況から、やむなく中止することいたしました。何卒ご了承願います。

近年は、ライフスタイルや価値観の多様化による自治会離れが危惧されています。

自治会ではゴミステーションや防犯灯の管理、広報紙の配布、回覧板による情報伝達、高齢者や子どもの見守り活動といった地域で安全、安心に暮らすための活動や親睦事業等を行っています。多くの皆様に自治会加入、自治会活動へのご参加をいただきたくお願い申し上げます。

また、当協議会に対しましても変わらぬご支援を賜りますよう今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

<創立30周年記念感謝状贈呈者（会長、副会長、理事を5年以上務められた皆様）>

渡邊 源之 様（有珠）	・ 馬場 一憲 様（中央）	・ 桂川 義治 様（大滝）
市澤 正昭 様（稀府）	・ 掃部 一夫 様（東）	・ 宇佐美 雅昭 様（大滝）
菊地 勝治 様（黄金）	・ 佐藤 研一 様（稀府）	・ 湯浅 勝義 様（山下）
菊池 利博 様（長和）	・ 佐藤 孝治 様（閑内）	



創立20周年記念事業制作
「伊達市連合自治会協議会旗」

【北海道町内会連合会（道町連）からのお知らせ】

道町連では、自治会活動中に起きた事故やケガに対し見舞金を支給する「道町連共済」事業を行っています。見舞金の支給を受けるためには自治会が申し込みを行う必要があります。保険期間は4/1～3/31、掛金は200円／人です。（役職加入の場合100円／人の補助が協議会から出ます）新年度からのご加入をぜひご検討ください。

コミセン紹介

今回は黄金地区コミセン「はまなす館」



コミセンとは…コミュニティセンターの略称。地域の皆さんのが集会や学習、軽スポーツ、料理教室などのさまざまな活動を通じ、生活文化や福祉の向上を目的に整備された施設です。市には4か所のコミセンがあり、自治会を中心として組織された運営協議会がコミセンの管理運営を行っています。

コミセンには非常用発電機が設置されており、不測の停電時には備え付けのプロパンガスを使用して電力を確保することができます。

地域の自治会活動の拠点となっているコミセンについて、今回は黄金地区コミセン「はまなす館」をご紹介します。はまなす館は、平成16

年にオープンし、多目的ホールを中心に会議室1室（兼食堂）や和室2室、調理実習室などを備えています。また、葬儀用の祭壇を備えているほか、紙類回収庫を設置しています。カラオケの利用もできます。ロビーには一般図書を配置しています。

地元である黄金地区的団体利用が多いですが、隣接している室蘭市の団体利用が多いことも特徴です。自治会主催のイベントとしては運動会や卓球大会、味噌づくり講習会、コミセン祭り等が活発に行われています。特にコミセン祭りはジンギスカン交流会や野菜・花の即売会、こどもまつり、bingoゲーム大会、もちまきといった子どもから大人まで楽しめる一大イベントとなっており、黄金地区住民相互の親睦を深める大変良い機会となっています。

●場 所：伊達市北黄金町65-1

●電 話：24-2111（予約は平日13時～17時）

●利用例：自治会（イベント、会議、研修会）、
社交ダンス、軽体操、レク、囲碁、カラオケ、そば打ち、ヨガ、卓球など

当協議会では、三つの委員会を設置しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各委員会においても多くの活動を中止しましたが、実施することのできた事業について紹介します。

連自協事業報告

環境福祉委員会

○館山花壇への植栽

例年、伊達信用金庫職員の皆さんにご協力をいただき、館山花壇（国道37号沿い）への植栽を行っていますが、今年度は緊急事態宣言が発令されたことに伴い、事務局である市総務課職員で植栽を行いました。6月10日、長さ約10メートルの花壇に黄色・橙

色のマリーゴールド900株を植栽しました。また、今年度も警察で取り組んでいる「ひまわりの絆プロジェクト」に参加し、交通安全の願いを込めて、ひまわりの種をまきました。今年度は日照りの日が続いたため、花壇の維持管理が難しい年でしたが、来年度も見る人の目を楽しませ、元気にしてくれる花壇づくりを続けたいと思います。



※「ひまわりの絆プロジェクト」とは・・・平成23年、京都府内において交通事故により当時4歳の男の子が亡くなりました。生前男の子はひまわりを大切に育てており、ご家族は交通事故根絶の思いからひまわりの種を京都府警に託しました。願いを込めたひまわりの種は「ひまわりの絆プロジェクト」として全国各地で大輪の花を咲かせていました。ひまわりの種は伊達警察署警務課(22-0110)や連自協事務局で配布していました。

○ 第42回花だんコンクール

今年度は一般の部では8か所の応募、模範花だんの部では10か所の応募があり、8月3日、審査を行いました。市内のフラワーマスター2名の協力のもと審査を行い入賞花だんは下記のとおり決定しました。昨年優秀賞の長和20区自治会は最優秀賞に選ばれ、今年度で閉校となる稀府小学校は花の種類やデザイン、細かな手入れが評価され見事優秀賞に選ばれました。表彰式は10月22日、市民活動センターで開催しました。



パネル展

また、例年カルチャーセンター・ロビーで行っている花だんコンクール写真パネル展ですが、3月14日～18日の五日間、初めて伊達信金コスモスホールアトリウムで開催しました。足を運んでいただいた皆様、ありがとうございました。



表彰式の様子

令和3年度 第42回花だんコンクール入賞花だん

※敬称略

部 門	名 称	賞	部 門	名 称	賞
自治会花だん	長和20区自治会	最優秀賞	個 人 花 だ ん	新田 章雄	努力賞
	東1区自治会	努力賞	個人ガーデニング	板林 慶招	努力賞
一 般 花 だ ん	ふれあい館	努力賞	模範花だん(団体)	市街18区自治会	マスター賞
	伊達市立図書館	努力賞	模範花だん(個人)	大西 セツ子(乾町)	マスター賞
学 校 花 だ ん	稀府小学校	優秀賞		岡崎 重雄(館山下町)	マスター賞
	光陵中学校	努力賞			



自治会花だん 最優秀賞 長和20区自治会



学校花だんの部 優秀賞 稀府小学校



模範花壇の部(団体)
マスター賞 市街第18区自治会



模範花壇の部(個人)
マスター賞 大西セツ子



模範花壇の部(個人)
マスター賞 岡崎重雄

【有珠山火山噴火災害時の地域防災について】

今回は、有珠山と共に歩む伊達市にとって考えなければならない「有珠山火山噴火災害における地域での行動」について紹介させていただきます。

1 有珠山火山噴火災害時の主な動きについて

(1) 有珠山の噴火警戒レベルについて

噴火警戒レベルとは、火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民の「とるべき防災対応」を5段階に区分して発表する指標です。

注意ポイント→有珠山の噴火警戒レベルは、火山活動が高まって行く段階の時にはレベル3は運用しません。

<火山活動が活発化>

レベル1(通常時)→レベル2→レベル4→レベル5

<火山活動が収束化>

レベル5→レベル4→レベル3→レベル2→レベル1
※順番通りに噴火警戒レベルが運用されるものではありません。

※レベルの細部については、有珠山火山防災マップをご覧ください。

(2) 警戒レベルに応じた自治会の役割

ア 有珠山の火山活動の高まり等があった場合は、気象台から危機管理室に対し情報提供が行われます。

イ レベル2(火口周辺規制)

(ア) 市が実施する主な事項

a 災害対策本部を設置して、市民に有珠山の現況及び入山規制等についてお知らせします。

また、有珠山の登山道を閉鎖(看板の設置等)し、登山者に対する下山等の呼びかけをします。

b 体に感じない地震の増加及び火山活動の活発化が確認された場合、努めて連合自治会長等に対する電話連絡を実施するほか、市のホームページ等により情報発信します。

(イ) 自治会等が実施する主な事項

a 市から連絡を受けた連合自治会長は、受領した情報の内容について各単位自治会長に連絡をします。(5W1Hで分かりやすく連絡することが重要です。)

b 連絡を受けた単位自治会長は、自治会の連絡網に基づき各班長へ連絡をします。(各班長は、班員に連絡して情報の共有を図ります。)

c 注意ポイント

連絡する際は、避難準備についても注意喚起「高齢者等避難」が発令された場合は速やかに避難するように伝えることが大切です。

ウ レベル4(避難準備)

(ア) 体に感じる地震(有感地震)が発生した場合、警戒レベルが4へ引き上がります。この場合「高齢者等避難」を発令することを基準とします。

※「高齢者等避難」の対象は、年齢に関係なく避難するのに時間のかかる方(要配慮者(高齢者、障害をお持ちの方、妊婦、観光の外国人等))です。

(イ) 市が実施する主な事項

a 「高齢者等避難」の情報発信要領は、防災行政無線のモーターサイレンの吹鳴(60秒サイレン-5秒休止-60秒サイレン-5秒休止を何度も繰り返す)、携帯電話への緊急速報エリヤメールの配信、市の車両・消防車両による街宣広報、wi-radioによる放送、ヤフー防災アプリによる発信、報道機関の協力、ホームページ等です。

b 有珠町地区、長和町地区、館山下町地区の住人は避難の優先順位が高くあらかじめ避難所を指定します。この際、要配慮者に対する避難バスを1便のみ運行する予定です。(今後、関係自治会を通じ説明会を開催します。)

c 状況により「避難指示」を発令します。

※避難指示を発令した場合の避難バスは運行しませんのでご承知おきください。

(ウ) 自治会等が実施する主な事項

a 避難情報を受信した連合自治会長及び単位自治会長は、自治会内で情報を共有するとともに、お互い協力し合い速やかに避難行動に移行してください。

b 避難する際は、市から事前に配られている防災安否札(令和4年度に各世帯に3枚配布予定)を自宅の玄関ドアに貼付け、無事に避難したこと表示するとともに、自家用車で避難する方は、助手席側のドアミラー(鏡面の反対側)にも防災安否札を貼付けて避難してください。(交通規制している警察官が確認するためです。)

c 避難所に到着後は、市の職員と協力して避難者の受付、誘導、段ボールベッド等の作成など避難所づくりをするとともに、避難所運営委員会を立ち上げて、円滑な避難所生活が送れるよう協力し合います。(伊達市避難所運営マニュアル(令和2年4月)をご覧ください。)

エ レベル5(避難)

「避難指示」を発令します。避難指示を発令された区域の住民は全員避難しなくてはなりません。

2 まとめ

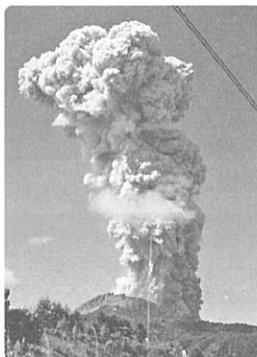
今回は、情報発信から避難行動までの自治会の活動について主要な事項を紹介させていただきました。

有珠山火山噴火災害は、過去の歴史から噴火までに前兆を伴う火山と認識されており、**前兆現象が起きてから準備をして避難する**と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

しかしながら、1977年の噴火は、前兆から約32時間で噴火に至っており、準備もままたらないことが予想されます。今から「避難のための準備」をしてください。火山噴火は避難生活が比較的長期となることを踏まえて準備することが重要となります。**災害はいつ起きるかわかりません。**

地域における防災についてお困りになっていることがありますたら、お気軽に危機管理室に相談してください。お待ちしております。

(総務部総務課危機管理室 Tel: 0142-82-3162)



1977年の噴火



2000年の噴火

市では交通安全指導員(みどりのおばさん・おじさん)が通学路で子どもたちの安全を守っています。指導員さんの他にも、自治会の方や交通安全協会、防犯協会の方など地域で見守りをしてくれる方々がいます。「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」と声をかけてくれる皆さんのおかげで、子どもの安心はもとより親も安心して学校に送り出せています。いつもありがとうございます。